

沖縄県における精神保健福祉の現状

平成29年

沖縄県保健医療部地域保健課

はじめに

近年、うつ病等や認知症患者が増加するほか、薬物依存、発達障害への対応及び自殺対策等、精神科医療に対する需要は複雑、多様化しており、国は5大疾病の一つとして精神疾患を位置付けるなど、精神科医療はより重要性を増しているところです。

また、精神障害者の保健医療福祉に関して国は、平成25年に精神保健福祉法を改正し、精神科医療の今後の方向性を示す指針を新たに定めた他、保護者規程の廃止、入院医療中心から地域生活を支えるための精神科医療の実現を掲げております。

このように我が国の精神保健福祉施策が大きな転換期を迎える中、県では、精神疾患の患者が地域で安心して生活するため、精神科救急体制を整備するとともに、各保健所等においては、措置通報への対応や病院実地指導をとおして、地域における精神保健福祉法の適切な執行に努めているところであります。

また、自殺対策については、平成28年に自殺対策基本法の改正に伴い、都道府県・市町村において自殺対策計画の策定が義務づけられました。本県では、地域の状況に応じた自殺対策が総合的かつ効率的に推進されるよう、沖縄県自殺対策推進センターの設置、第2次沖縄県自殺総合対策行動計画の策定など、自殺対策施策を進めているところです。

その他、「第4期沖縄県障害者福祉計画」と連携し、精神科病院に入院中の精神障害者の地域移行の推進や就労支援の強化など、障害者福祉施策の着実な展開を図っているところです。

これら県が行う精神保健福祉施策の推進のためには、当事者やその家族、関係機関等の御理解と御協力が不可欠です。

この小冊子は本県の精神保健福祉の現状等についてまとめたものであり、関係機関をはじめ多くの方々に精神障害者を取り巻く現状を理解するため御活用いただければ幸いです。

最後に、作成にあたり御協力をいただいた皆様に感謝し、心よりお礼申し上げます。

平成31年4月

沖縄県地域保健課

目 次

沖縄県における精神保健福祉の現状

1. 精神保健福祉対策の概要	1
2. 県内精神科医療施設の現状	2
(1) 施設及び病床数	2
(2) 2次医療圏別病院数、病床数	2
(3) 2次医療圏別精神科医療施設数	2
(4) 2次医療圏別精神保健指定医の状況	2
(5) 経営主体別精神科病院の現況	3
(6) 精神科医療施設、関係機関の分布図	5
(7) 精神病床数の年次推移	6
(8) 精神科病院・診療所等受療状況の年次推移	6
(9) 精神科病院の利用状況	7
(10) 入院形態別の在院患者数	8
(11) 年齢階級別の在院患者数	8
(12) 在院期間別・入院形態別の在院患者数	8
(13) 病院の平均在院日数	10
(14) 平均在院日数の推移	10
(15) 在院患者の疾患別内訳	11
3. 通報・申請・届出の状況	12
(1) 通報・申請制度	12
(2) 年度別保護申請通報等件数・措置入院件数・措置解除件数	12
(3) 医療保護入院・退院届出状況	12
4. 沖縄県精神障害者通院患者リハビリテーション事業	13
(1) 登録状況	13
(2) 訓練期間終了後の状況	13
5. 自殺対策	14
(1) 自殺者数の推移	14
(2) 自殺総合対策行動計画	14
(3) 県の取組	14
6. 高次脳機能障害支援普及事業	16
(1) 事業目的	16
(2) 事業実績	16
7. 総合精神保健福祉センター活動状況	17
(1) 普及啓発、技術指導、教育研修等状況	17
(2) 精神医療審査会状況	17
(3) 精神障害者保健福祉手帳交付申請状況	17
8. 医療費公費負担制度	18
(1) 制度概要	18
(2) 年次別通院公費負担承認件数	18
9. 沖縄県精神科救急医療体制概要	19
(1) 目的	19
(2) 内容	19
(3) 年度別受信状況	20

10. 平成 29 年度沖縄県の精神保健福祉関係予算	-----	21
(1) 平成 29 年度精神保健福祉関係予算	-----	21
(2) 精神医療費年度推移	-----	22
(3) 年度別公費負担入院医療費の支払件数及び支払金額	-----	22
(4) 年度別公費負担通院医療費の支払件数及び支払金額	-----	22

精神保健医療福祉社会資源

1. 沖縄県精神保健福祉機関	-----	24
2. 精神科病院	-----	25
3. 精神科クリニック・精神科外来	-----	26
4. 市町村精神保健福祉担当課	-----	29
5. 関係団体	-----	31
6. 指定特定相談支援事業所	-----	32
7. 指定一般相談支援事業所	-----	38
8. グループホーム	-----	40
9. 都道府県精神保健福祉担当課一覧	-----	44
10. 全国精神保健福祉センター	-----	45

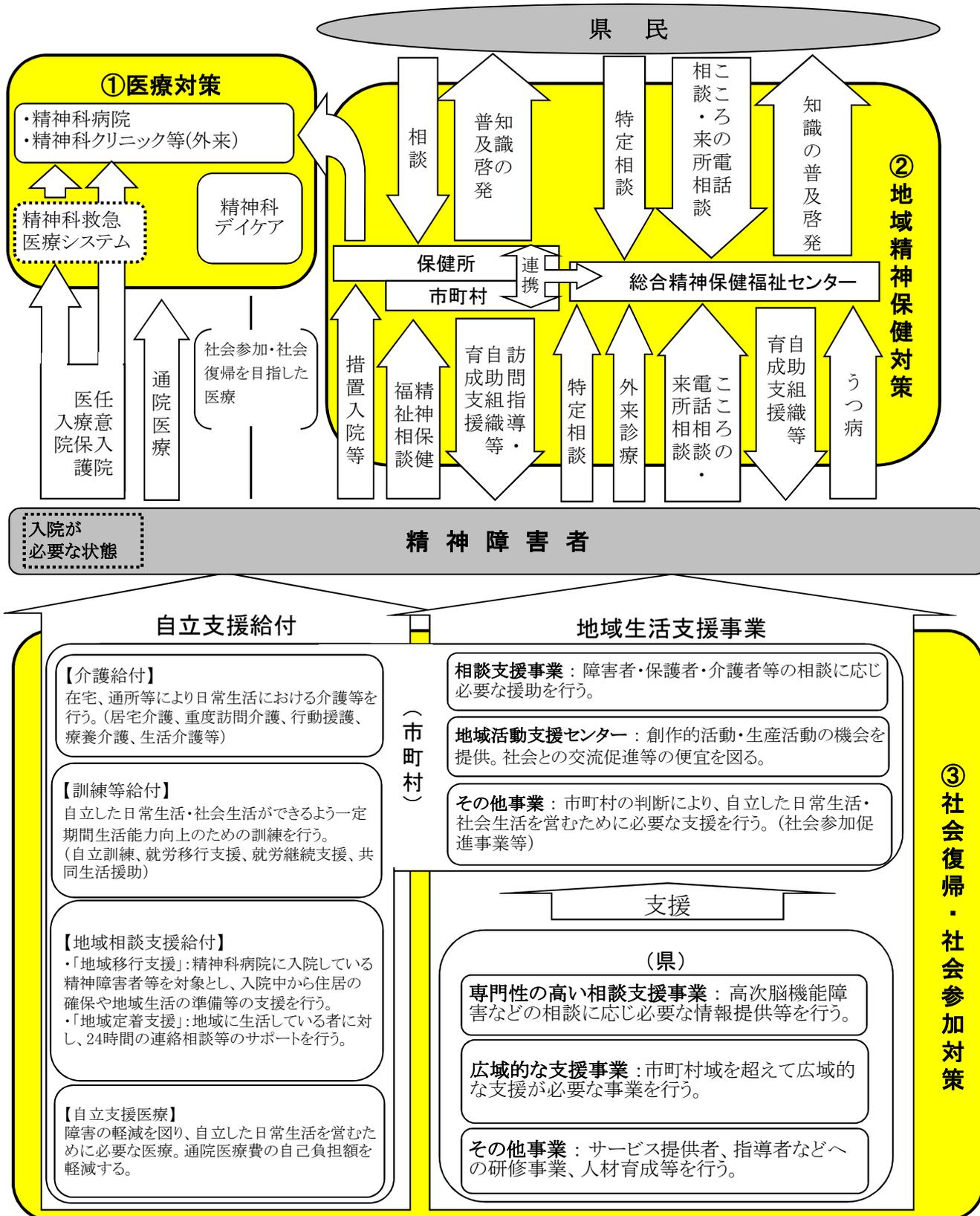
沖縄県における精神保健福祉の現状

1 精神保健福祉対策の概要

県では精神保健福祉対策として、精神障害の発生予防から精神障害者の医療及び保護、社会復帰促進、自立と社会参加支援までの各種施策を、第4次沖縄県障害者基本計画等に基づき総合的、計画的に推進している。

精神保健対策の概要図

図1



2 県内精神科医療施設の現状

(1) 施設及び病床数

本県における平成29年6月30日現在の精神病床を有する医療施設数は25施設で、病床数は5,416床となっている。また、精神科・心療内科を標榜している医療施設は100施設(当課把握数)であり、精神科病床を有する医療施設をあわせ、125施設となっている。

(2) 2次医療圏別病院数、病床数

(平成29年6月30日現在)表1

2次医療圏	北部	中部	南部	宮古	八重山	合計
施設数	2	8	13	1	1	25
病床数 (人口万対)	363 (35.8)	1,859 (36.9)	3,095 (42.3)	49 (9.4)	50 (9.3)	5,416 (37.6)
人口	101,285	503,165	731,584	52,260	53,688	1,441,982

※人口は平成29年7月1日現在推計人口

(3) 2次医療圏別精神科医療施設数

(平成29年5月現在)表2

2次医療圏	北部	中部	南部	宮古	八重山	合計
施設数 (人口万対)	9 (0.9)	31 (0.6)	73 (1.0)	8 (1.5)	4 (0.7)	125 (0.9)
人口	101,285	503,165	731,584	52,260	53,688	1,441,982

※施設数は、精神保健福祉資料(630調査)への回答結果に基づく

(4) 2次医療圏別精神保健指定医の状況(精神科病床を有する医療機関)

精神保健指定医制度は、一定の精神科実務経験を有し法律等に関する研修を修了した医師のうちから、患者本人の意思によらない入院や行動制限の判定を行う者として、厚生労働大臣が指定する制度である。

(平成29年6月30日現在)表3

2次医療圏	北部	中部	南部	宮古	八重山	合計
指定医数	7	53	86	3	1	150

(5) 経営主体別精神科病院の現況

県内の精神科病院(総合病院の精神病棟を含む。)を経営主体別に見ると、県立などの公立病院に比較し、医療法人が多く、76%を占めている。

[上段:病院数、下段:許可病床数]

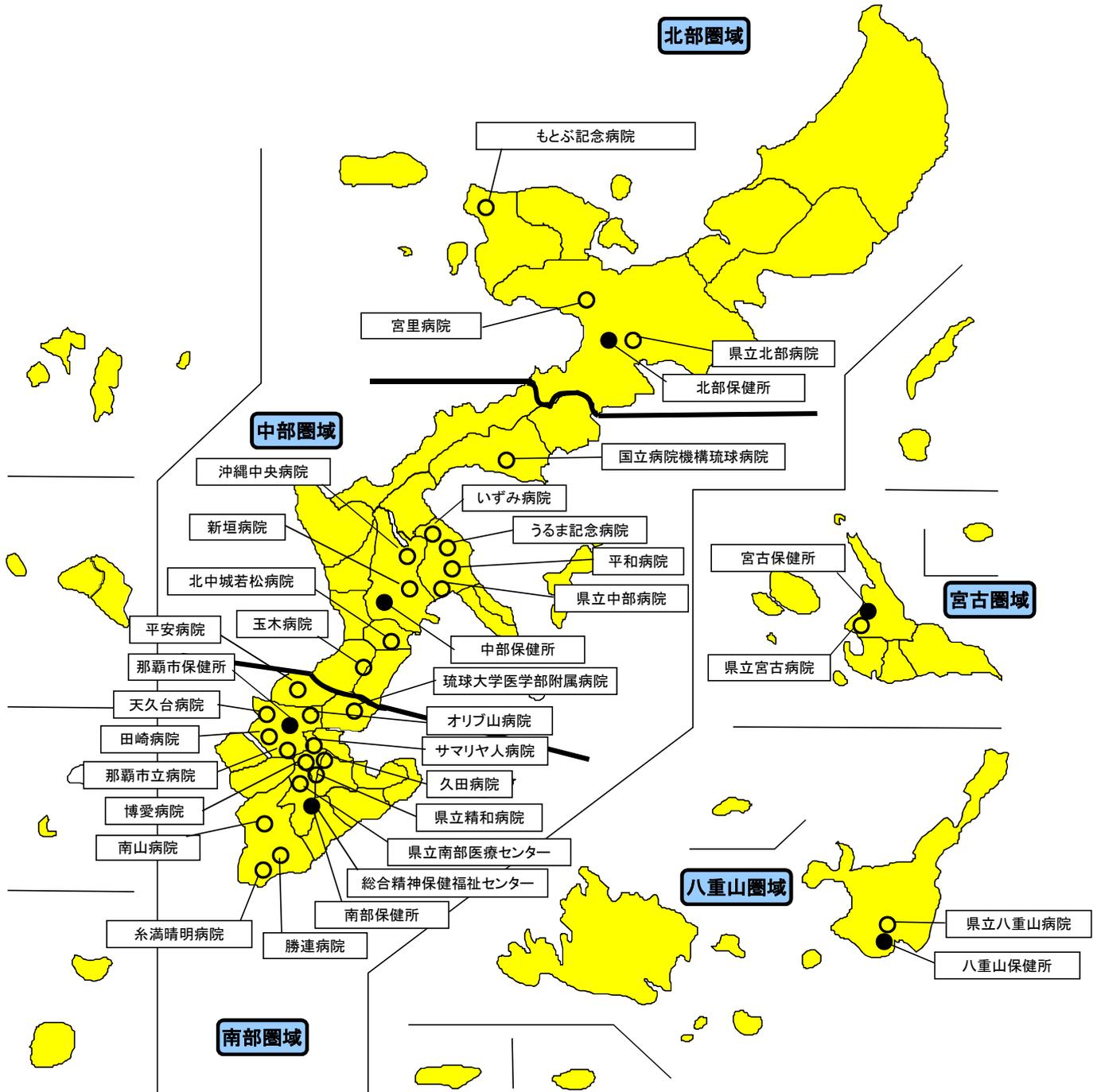
(平成29年6月30日現在)表4

経営主体 年度	国 (厚生省)	琉球大学 (文部省)	旧琉球 政府	県	財団法人 (沖縄県 精神衛 生協会)	医療法人	個人	計	備考
47	1 350	- -	- -	1 50	1 340	- -	8 1,478	11 2,218	●琉球精神科病院厚生省移管(5/15) ●玉木病院開設
48	1 350	- -	- -	3 440	- -	- -	9 1,657	13 2,447	●沖縄精和病院県立移管340床(4/1) ●八重山病院精神科50床開設 ●田崎第二病院開設
49	1 350	1 25	- -	3 440	- -	1 200	9 1,657	15 2,672	●琉大附属病院精神科病棟25床開設 ●糸満晴明病院開設
50	1 350	1 25	- -	3 440	- -	1 200	10 1,802	16 2,817	●沖縄中央病院開設
51	1 350	- -	- -	3 440	- -	1 200	10 1,892	15 2,882	●琉大附属病院精神科病棟廃止
52	1 350	- -	- -	3 440	- -	2 445	9 1,822	15 3,057	●たがみ病院医療法人移行
53	1 350	- -	- -	3 406	- -	2 445	10 2,013	16 3,214	●県立精和病院34床減 ●勝連老人病院開設
54	1 350	- -	- -	3 406	- -	2 521	10 1,937	16 3,214	●勝連老人病院96床増 ●たがみ病院76床増
55	1 350	- -	- -	3 406	- -	3 703	10 2,170	17 3,629	●本部記念病院182床開設 ●田崎第二病院48床増 ●玉木病院15床増
56	1 350	- -	- -	3 406	- -	4 903	9 1,978	17 3,637	●島医院9床減 ●田崎第二病院医療法人移行
57	1 350	- -	- -	3 406	- -	4 903	9 2,031	17 3,690	●勝連老人病院53床増
58	1 350	- -	- -	3 406	- -	4 953	10 2,239	18 3,948	●田崎第二病院50床増 ●福寿草病院124床開設 ●平安病院84床増 ●たがみ病院をオリブ山病院に改称
59	1 350	- -	- -	3 456	- -	4 952	10 2,322	18 4,080	●宮古病院精神科50床増 ●勝連病院83床増 ●南山病院144床開設
60	1 350	- -	- -	3 460	- -	4 952	10 2,443	18 4,205	●島医院閉院19床 ●いずみ病院開設140床 ●精和病院移転310床
61	1 350	- -	- -	3 460	- -	4 952	11 2,710	19 4,472	●勝連病院101床増 ●久田病院22床増
62	1 350	- -	- -	3 460	- -	4 966	14 3,180	22 4,956	●平和病院開設 ●博愛病院開設 ●北中城若松病院開設
63	1 350	- -	- -	4 500	- -	4 1,038	14 3,347	23 5,235	●県立北部病院40床開設 ●糸満晴明病院50床増 ●本部記念病院70床増 ●玉木病院17床増 ●南山病院71床増 ●いずみ病院80床増 ●博愛病院9床増 ●北中城若松病院10床減
平成 元年	1 350	- -	- -	4 500	- -	7 1,771	12 2,927	24 5,548	●具志川記念病院開設 ●名護浦和病院43床増 ●名護浦和病院閉鎖 ●宮里病院開院167床 ●田崎・新垣・平和病院医療法人移行
2	1 350	- -	- -	4 500	- -	7 1,771	12 2,927	24 5,548	●天久台病院医療法人移行
3	1 350	1 40	- -	4 500	- -	10 2,363	9 2,335	25 5,588	●琉大附属病院40床開設 ●いずみ・北中城若松病院医療法人 移行
4	1 350	1 40	- -	3 460	- -	10 2,363	9 2,335	24 5,548	●県立北部病院40床閉鎖
5	1 350	1 40	- -	3 460	- -	10 2,630	9 2,168	24 5,648	●本部記念病院50床増 ●新垣病院痴呆病棟50床増 ●宮里病院医療法人移行

経営 主体 年度	国 (厚生省)	琉球大学 (文部省)	旧琉球 政府	県	財団法人 (沖縄県 精神衛 生協会)	医療法人	個人	計	備考
6	1 350	1 40	- -	3 460	- -	13 3,568	6 1,280	24 5,698	●勝連・南山・沖縄中央病院医療法人 移行 ●天久台病院痴呆病棟50床増 ●サマリヤ人病院痴呆病棟50床増 ●田崎病院50床減
7	1 350	1 40	- -	3 460	- -	14 3,940	5 958	24 5,748	●久田病院医療法人移行
8	1 350	1 40	- -	3 460	- -	17 4,618	2 230	24 5,698	●博愛・平安・具志川記念病院医療 法人移行 ●サマリヤ人病院66床増 ●田崎病院66床減
9	1 350	1 40	- -	3 460	- -	17 4,618	2 230	24 5,698	●糸満清明病院28床減 ●本部記念病院からノーブルメディカル センターへ名称変更 ●ノーブルメディカルセンター12床減
10	1 350	1 40	- -	3 460	- -	17 4,578	2 230	24 5,658	
11	1 350	1 40	- -	3 460	- -	17 4,578	2 230	24 5,658	
12	1 350	1 40	- -	3 460	- -	17 4,578	2 230	24 5,658	
13	1 350	1 40	- -	3 460	- -	18 4,774	1 19	24 5,643	●厚生省から厚生労働省へ変更 ●玉木病院医療法人移行 ●ノーブルメディカルセンター24床減
14	1 350	1 40	- -	3 460	- -	18 4,765	1 19	24 5,634	
15	1 350	1 40	- -	3 460	- -	18 4,765	1 19	24 5,634	●具志川記念病院からうるま記念病院 へ名称変更
16	1 350	1 40	- -	3 460	- -	19 4,784	- -	24 5,634	
17	1 350	1 40	- -	3 460	- -	19 4,782	- -	24 5,632	●琉球病院、独立行政法人に移行 ●琉大附属、国立大学法人に移行 ●サマリヤ人病院10床増 ●田崎病院10床減 ●糸満清明病院2床減
18	1 350	1 40	- -	4 410	- -	18 4,759	- -	24 5,559	●宮古病院50床減 ●南部医療センター・こども医療セン ター開棟(精和病院から5床移管) ●ノーブルメディカルセンター10床減 ●久田病院6床減 ●勝連病院2床減
19	1 350	1 40	- -	4 410	- -	19 4,764	- -	25 5,564	●ノーブルメディカルセンター6床減
20	1 326	1 40	- -	4 405	- -	19 4,714	- -	25 5,485	●琉球病院24床減 ●精和病院5床減 ●ノーブルメディカルセンター50床減
21	1 326	1 40	- -	4 405	- -	19 4,704	- -	25 5,475	●ノーブルメディカルセンター10床減
22	1 326	1 40	- -	4 405	- -	19 4,704	- -	25 5,475	
23	1 326	1 40	- -	4 355	- -	19 4,702	- -	25 5,423	●精和病院50床減 ●勝連病院2床減
24	1 326	1 40	- -	4 355	- -	19 4,696	- -	25 5,417	●サマリヤ人病院6床減 ●ノーブルメディカルセンターから もとぶ記念病院へ名称変更
25	1 326	1 40	- -	4 350	- -	19 4,696	- -	25 5,412	●宮古病院5床減
26	1 326	1 40	- -	4 350	- -	19 4,696	- -	25 5,412	
27	1 326	1 40	- -	4 350	- -	19 4,696	- -	25 5,412	
28	1 326	1 40	- -	4 350	- -	19 4,696	- -	25 5,412	
29	1 326	1 40	- -	4 354	- -	19 4,696	- -	25 5,416	

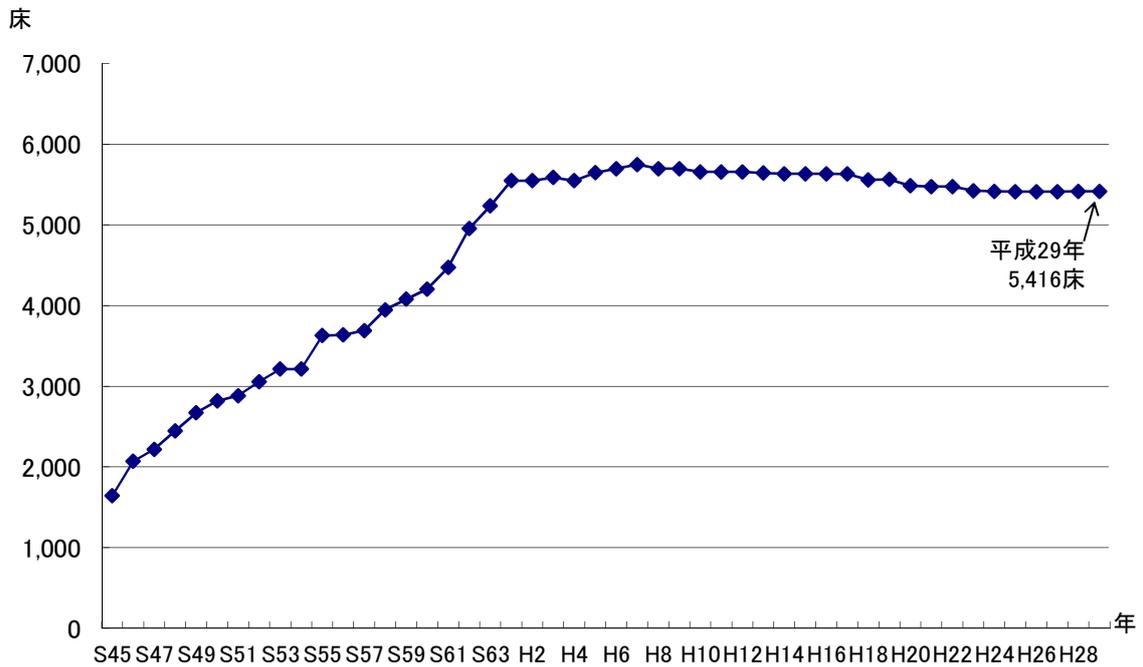
(6) 精神科医療施設、関係機関の分布図

(平成30年4月1日現在) 図2



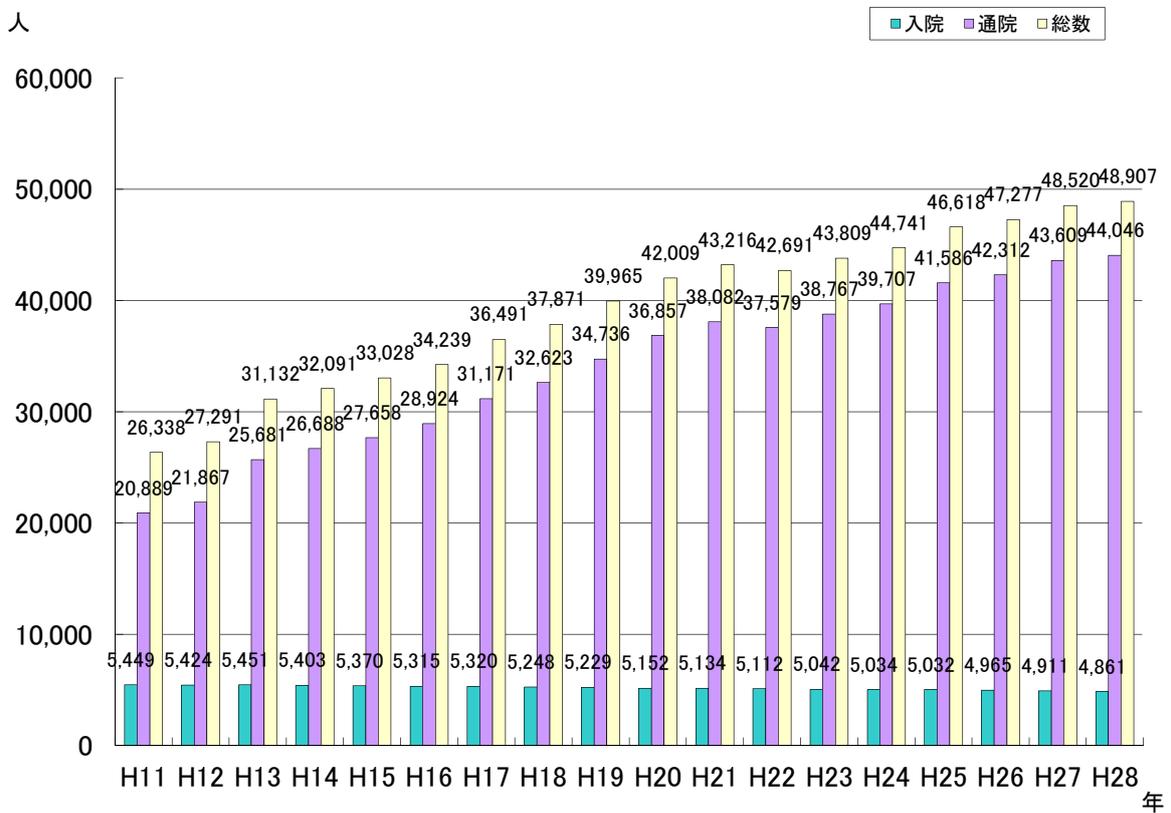
(7) 精神病床数の年次推移

図3



(8) 精神科病院・診療所等受療状況の年次推移(各年6月現在)

図4



(9)精神科病院の利用状況

(平成29年6月30日現在)表5

施設名	精神 病床数	指定 病床数	在院 患者数	病床 利用率	措置 入院者数	医療保護 入院者数	任意 入院者数	応急 入院者数	医療観察 法による 鑑定入院 者数	医療観察 法による 入院者数
琉球病院	326	…	274	84.0	2	160	81	-	-	31
精和病院	250	…	193	77.2	2	39	150	-	-	2
宮古病院	49	…	40	81.6	1	20	19	-	-	-
八重山病院	50	…	21	42.0	-	7	14	-	-	-
オリブ山病院	232	5	215	92.7	-	78	137	-	-	-
糸満清明病院	300	5	250	83.3	1	152	97	-	-	-
もとぶ記念病院	196	4	154	78.6	-	118	36	-	-	-
サマリヤ人病院	346	5	341	98.6	2	27	312	-	-	-
田崎病院	170	19	165	97.1	-	43	122	-	-	-
新垣病院	273	20	263	96.3	7	213	42	-	-	1
平和病院	212	17	211	99.5	2	56	153	-	-	-
天久台病院	333	16	322	96.7	3	97	221	-	-	1
平安病院	309	15	292	94.5	7	165	118	1	-	1
久田病院	226	15	210	92.9	2	20	188	-	-	-
玉木病院	211	1	168	79.6	-	32	136	-	-	-
沖縄中央病院	239	6	212	88.7	-	138	74	-	-	-
勝連病院	520	-	406	78.1	-	119	287	-	-	-
宮里病院	167	10	165	98.8	2	69	94	-	-	-
南山病院	215	16	214	99.5	1	94	119	-	-	-
いずみ病院	220	5	200	90.9	-	88	112	-	-	-
博愛病院	149	5	123	82.6	2	60	61	-	-	-
北中城若松病院	108	-	108	100.0	-	100	8	-	-	-
うるま記念病院	270	-	270	100.0	-	129	141	-	-	-
琉大病院	40	…	34	85.0	-	22	12	-	-	-
南部医療センター・ こども医療センター	5	…	3	60.0	1	1	1	-	-	-
合計	5,416	164	4,854	89.6	35	2,047	2,735	1	-	36

(10)入院形態別の在院患者数

(各年6月30日時点)表6

費目	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年	
	入院患者数	率(%)								
総数	5,032	100.0	4,965	100.0	4,911	100.0	4,861	100.0	4,854	100.0
措置入院	26	0.5	18	0.4	21	0.4	23	0.5	35	0.7
医療保護入院	2,173	43.2	2,165	43.6	2,105	42.9	2,045	42.1	2,047	42.2
任意入院	2,801	55.7	2,746	55.3	2,750	56.0	2,767	56.9	2,735	56.3
応急入院	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0	1	0.0
医療観察法による鑑定入院	-	0.0	4	0.1	2	0.0	1	0.0	0	0.0
医療観察法による入院	32	0.6	32	0.6	33	0.7	25	0.5	36	0.7
他法入院(結核)	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0

(11)年齢階級別の在院患者数

(平成29年6月30日現在)表7

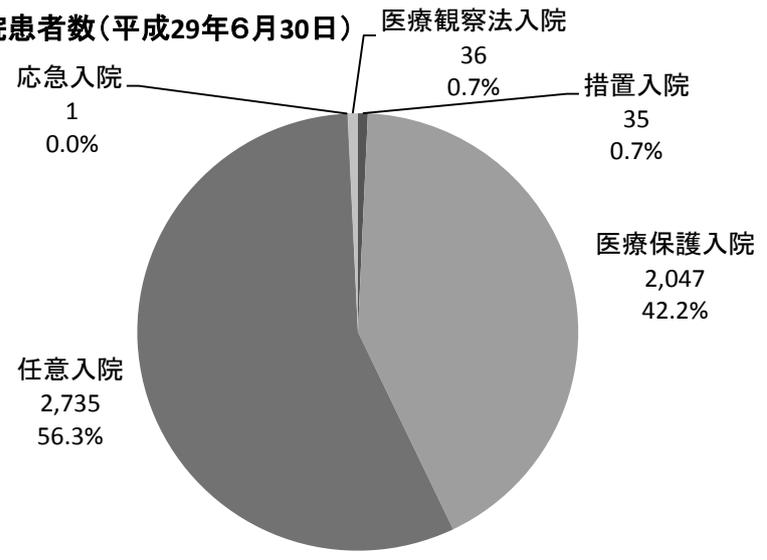
年齢	男	女	計	%
20歳未満	8	5	13	0.3
20歳以上40歳未満	203	173	376	7.7
40歳以上65歳未満	1,182	804	1,986	40.9
65歳以上75歳未満	678	448	1,126	23.1
75歳以上	574	779	1,353	27.9
計	2,645	2,209	4,854	100.0

(12)在院期間別・入院形態別の在院患者数

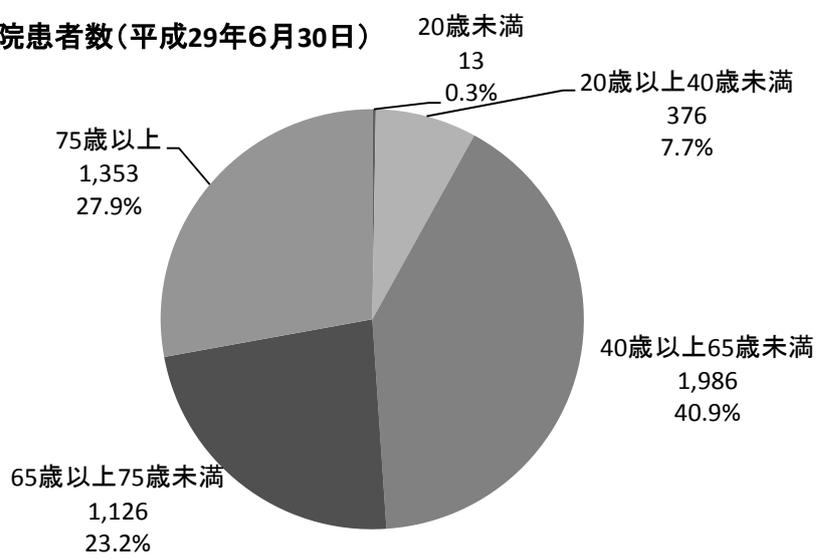
(平成29年6月30日現在)表8

在院期間	措置入院	医療保護	任意入院	その他	合計	%
1ヶ月未満	8	241	263	1	513	10.6
1ヶ月以上3ヶ月未満	19	288	325	5	637	13.1
3ヶ月以上6ヶ月未満	1	200	225	5	431	8.9
6ヶ月以上1年未満	2	199	287	9	497	10.2
1年以上5年未満	3	614	832	17	1,466	30.2
5年以上10年未満	0	258	368	0	626	12.9
10年以上20年未満	2	162	232	0	396	8.2
20年以上	0	85	203	0	288	5.9
計	35	2,047	2,735	37	4,854	100.0

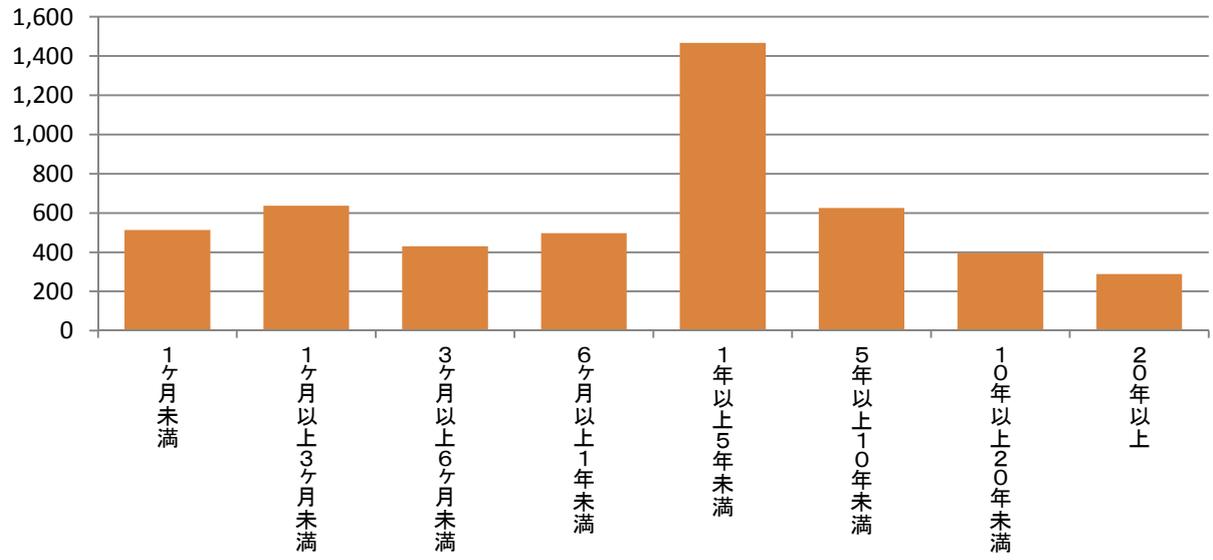
入院形態別の在院患者数(平成29年6月30日) 図5



年齢階級別の在院患者数(平成29年6月30日) 図6



在院期間別の在院患者数(平成29年6月30日現在) 図7



(13) 病院の平均在院日数

[単位：日]

(平成28年 年間) 表9

	全病床		精神病床		療養病床		一般病床	
全国	28.5		269.9		152.2		16.2	
長い県	高知	46.4	大分	415.2	富山	252.9	高知	21.3
	佐賀	42.1	山口	395.3	北海道	215.6	熊本	20.1
	鹿児島	42.0	鹿児島	361.1	京都	193.7	和歌山	19.4
	山口	41.8	徳島	355.2	石川	188.4	鹿児島	19.4
	熊本	40.8	長崎	354.3	神奈川	187.0	佐賀	19.3
：	：	：	：	：	：	：	：	
短い県	岐阜	24.6	神奈川	229.3	岐阜	112.0	長野	15.2
	愛知	24.0	大阪	228.9	宮崎	108.4	静岡	15.1
	長野	23.9	岡山	227.2	宮城	104.4	愛知	14.0
	神奈川	22.3	長野	222.1	鳥取	102.7	東京	13.9
	東京	22.3	東京	193.1	長崎	100.4	神奈川	13.8
沖縄県	30.0		253.5		162.8		15.7	

資料：医療施設（静態・動態）調査・病院報告

(14) 平均在院日数の推移

[単位：日]

(平成28年 年間) 表10

		全病床	精神病床	療養病床	一般病床
平成21年	沖縄県	34.8	289.9	200.8	17.6
	全国	33.2	307.4	179.5	18.5
平成22年	沖縄県	33.6	281.7	185.0	17.3
	全国	32.5	301.0	176.4	18.2
平成23年	沖縄県	33.3	294.3	187.3	17.2
	全国	32.0	298.1	175.1	17.9
平成24年	沖縄県	32.6	284.3	184.0	16.8
	全国	31.2	291.9	171.8	17.5
平成25年	沖縄県	31.7	274.1	182.5	16.5
	全国	30.6	284.7	168.3	17.2
平成26年	沖縄県	31.1	263.1	178.8	16.2
	全国	29.9	281.2	164.6	16.8
平成27年	沖縄県	30.5	260.7	130.0	15.9
	全国	29.1	274.7	158.2	16.5
平成28年	沖縄県	30.5	260.7	130.0	15.9
	全国	29.1	274.7	158.2	16.5

資料：医療施設（静態・動態）調査・病院報告

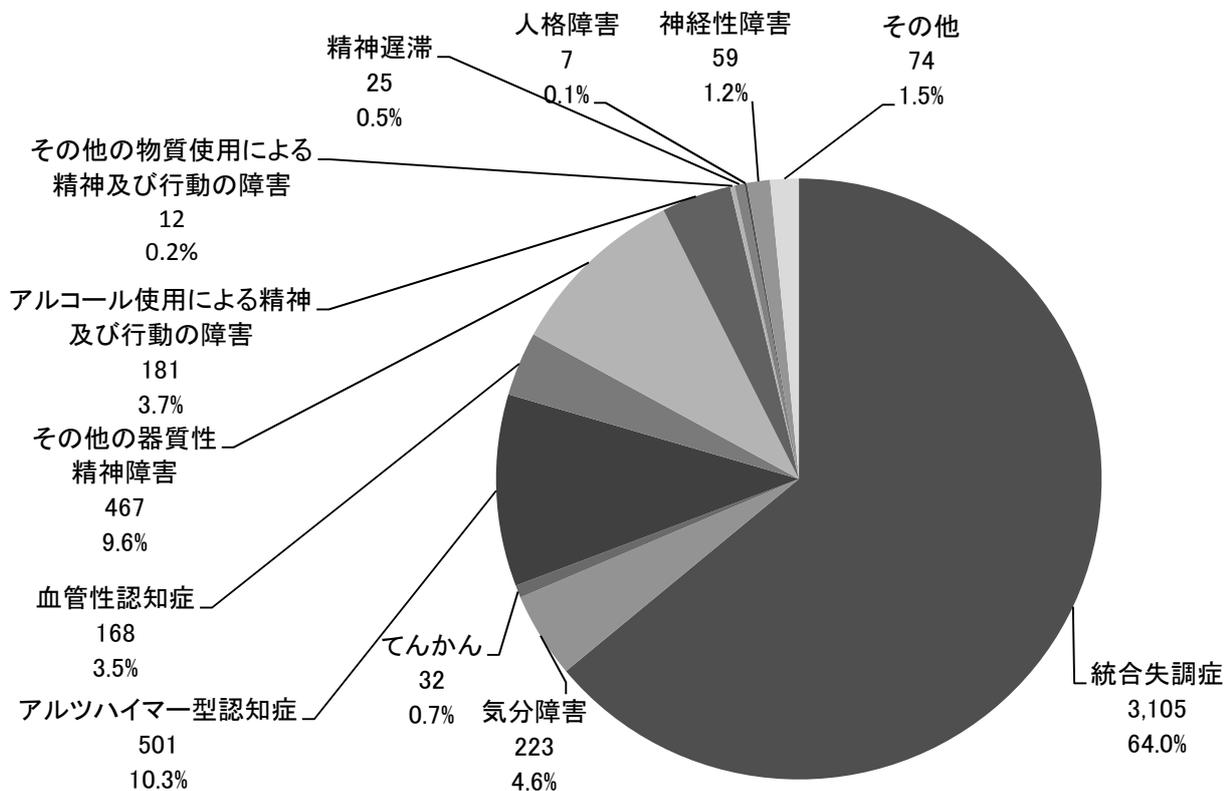
(15) 在院患者の疾患別内訳

(平成29年6月30日現在)表11

疾患	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年	
	在院患者数	率 (%)								
統合失調症	3,268	64.9	3,146	63.4	3,130	63.7	3,079	63.3	3,105	64.0
気分障害	238	4.7	244	4.9	259	5.3	238	4.9	223	4.6
てんかん	25	0.5	28	0.6	35	0.7	36	0.7	32	0.7
器質性精神障害	1,090	21.7	1,119	22.5	1,114	22.7	1,149	23.6	1,136	23.4
①アルツハイマー型認知症	472	9.4	493	9.9	489	10.0	505	10.4	501	10.3
②血管性認知症	258	5.1	239	4.8	223	4.5	165	3.4	168	3.5
③その他の器質性精神障害	360	7.2	387	7.8	402	8.2	479	9.9	467	9.6
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	217	4.3	227	4.6	210	4.3	190	3.9	193	4.0
①アルコール使用による精神及び行動の障害	204	4.1	222	4.5	205	4.2	181	3.7	181	3.7
②その他の物質使用による精神及び行動の障害	13	0.3	5	0.1	5	0.1	9	0.2	12	0.2
精神遅滞	20	0.4	19	0.4	23	0.5	19	0.4	25	0.5
人格障害	5	0.1	8	0.2	6	0.1	8	0.2	7	0.1
神経性障害	37	0.7	48	1.0	48	1.0	69	1.4	59	1.2
その他	132	2.6	126	2.5	86	1.8	73	1.5	74	1.5
合計	5,032	100.0	4,965	100.0	4,911	100.0	4,861	100.0	4,854	100.0

在院患者の疾患別内訳(平成29年6月30日現在)

図8



3 通報・申請・届出の状況

(1) 通報・申請制度

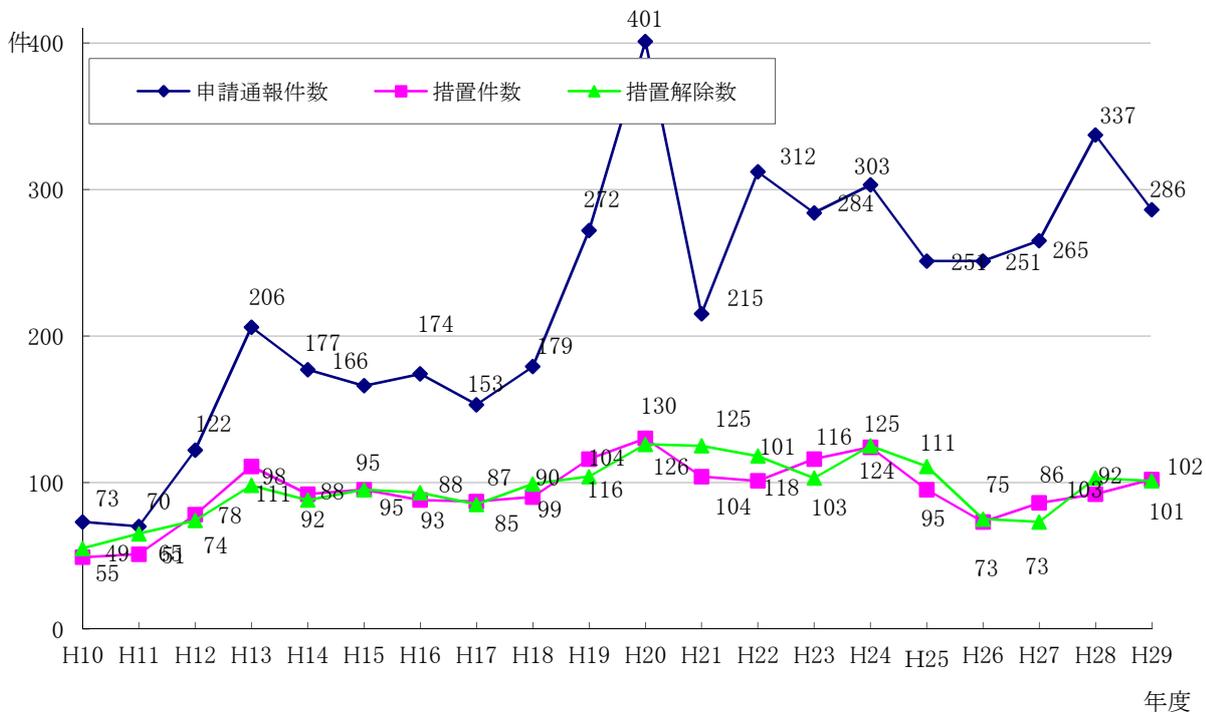
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律では、自傷・他害のおそれのある精神障害者及びその疑いのある者について、都道府県知事に通報等する制度があり、精神保健指定医の診察の結果、自傷・他害のおそれがあると認められた場合、都道府県知事は、当該精神障害者を精神科病院に入院させることができるとする措置入院制度が設けられている。

また、精神科病院の管理者は、診察の結果、自傷・他害のおそれはないが医療及び保護のための入院が必要な精神障害者について、本人の同意がなくても保護者の同意により入院させることができる医療保護入院制度や、入院を必要とする精神障害者で、任意入院を行う状態になく、急速を要し、保護者の同意が得られない場合に行う応急入院制度がある。

沖縄県内での通報件数及び措置入院件数は、平成29年度は5年前の平成24年度と比較し、通報件数で約5.6%の減少、措置入院件数で約17.7%の減少となっている(図9参照)。

(2) 年度別保護申請通報等件数・措置入院件数・措置解除件数(平成29年度)

図9



(3) 医療保護入院・退院届出状況(平成29年度)

(平成30年3月31日現在)表12

	医療保護入院			応急入院	
	家族等の同意による入院	市町村長の同意による入院	退院	指定医診察入院	特定医師診察入院
届出数	3,330	95	3,364	57	-
移送(再掲)	-	-		-	-

4 沖縄県精神障害者通院患者リハビリテーション事業

精神障害者を一定期間事業所に通わせ、集中力、対人能力、仕事に対する持久力、環境適応能力等を涵養するための社会適応訓練を行い、再発防止と社会的自立を促進し、もって精神障害者の社会復帰を図ることを目的とする事業である。

(1) 登録状況

表13

年度	協力事業所数	訓練者数	実訓練日数	備考
H18年	67	128	13,635	平成29年度の 協力事業所の業種は ・レンタル業 ・介護福祉施設 ・事務補助 ・清掃業 ・農業 ・飲食業 ・小売業 などである。
H19年	66	124	11,881	
H20年	56	112	11,452	
H21年	50	81	6,771	
H22年	47	70	6,544	
H23年	35	53	4,528	
H24年	30	41	3,149	
H25年	24	33	3,089	
H26年	24	50	2,405	
H27年	24	29	1,532	
H28年	21	26	1,110	
H29年	18	28	1,799	

(2) 訓練期間終了後の状況

表14

年度	修了者実数(人)												訓練継続者 D	訓練者実数 C+D=E	
	就労			就労以外											合計 A+B=C
	訓練事業所と 雇用契約	他の事業所と 雇用契約	小計 A	就労訓練を利用 職適等の他の	生活訓練施設等 への入所・通所等	訓練終了し在宅	訓練中止し在宅	入院	死亡	その他	小計 B				
H29	0人	0人	0人	0人	4人	3人	2人	0人	0人	0人	9人	9人	19人	28人	

5 自殺対策

(1) 自殺者数の推移

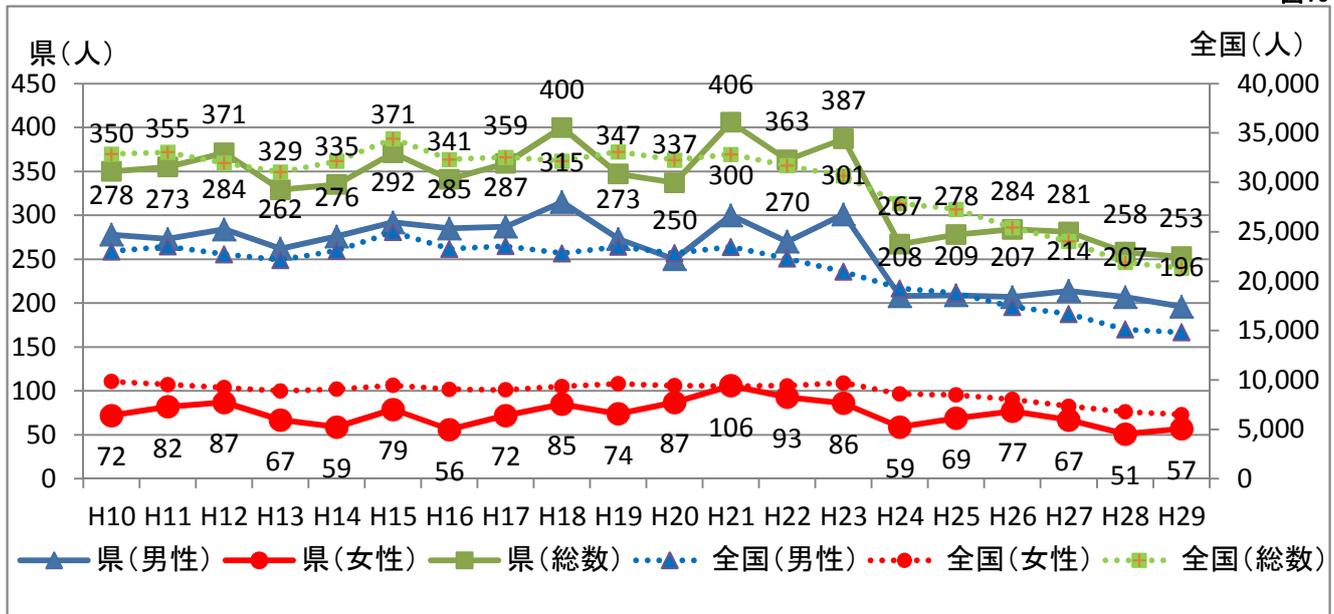
表15

	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
男	278	273	284	262	276	292	285	287	315	273	250	300	270	301	208	209	207	214	207	196
女	72	82	87	67	59	79	56	72	85	74	87	106	93	86	59	69	77	67	51	57
総数	350	355	371	329	335	371	341	359	400	347	337	406	363	387	267	278	284	281	258	253
死亡率										29.2	25.3	24.5	29.4	26.1	27.6	18.9	19.6	19.3	17.9	17.6

※ 自殺死亡率:人口10万人当たりの自殺者数

(警察庁の自殺統計より)

図10



(2) 自殺総合対策行動計画

沖縄県自殺総合対策行動計画は、自殺対策基本法及び国の自殺総合対策大綱の基本的認識及び考え方を踏まえ、地方公共団体の責務として実施する自殺対策について、行政をはじめ、民間の関係機関・団体等が相互に連携し、自殺の事前予防、自殺発生の危機への対応、及び未遂者や遺族等への事後対応を行うため、それぞれ役割を分担して総合的に推進していくために、平成20年3月に策定した。

平成28年の法改正、平成29年の大綱見直しを受け、第2次計画の策定を行うこととしている。更なる自殺対策の推進、誰も自殺に追い込まれることのない沖縄県の実現のため、自殺対策を生きることの包括的な支援として推進していくこととする。

(3) 県の取組

沖縄県自殺対策連絡協議会、自殺対策県機関連絡会議、保健所圏域毎の自殺対策関係機関連絡会議、総合精神保健福祉センター・保健所担当者会議等を開催し、関係機関との連携のもと、自殺対策に総合的、横断的に取り組んでいる。

① 自殺予防事業「かかりつけ医等心の対応力向上研修事業」

かかりつけ医に対し、適切なうつ病等精神疾患に関する診療の知識・技術及び精神科等の専門の医師との連携方法を習得させる為の研修を実施することにより、うつ病等精神疾患の早期発見・早期治療による一層の自殺対策の推進を図ることを目的とする。

研修会

表16

テーマ	日時	会場	受講者数
「成人自閉スペクトラム症におけるうつと自殺リスクについて -産業精神保健との関連も含めて-」 「発達障害のある人の育ちと生活自立を支えること-就労・ 服飾支援・職場での配慮を含めて-」	平成29年 11月22日	沖縄県 医師会館	152名 (医師75名) (コメディカル77名)

研修企画委員会

表17

組織	開催回数
各地区医師会代表、琉球大学医学部、行政機関	2回

②自殺対策強化事業

沖縄県及び市町村が、相談、人材養成、普及啓発、地域ネットワークの強化等の基幹的な事業や、特に必要性の高い自殺対策に関し、地域の特性に応じた効率的な対策を後押しし、地域における更なる自殺対策の強化を図ることを目的とする。

表18

区分	取組状況	総事業費 (円)
対面相談	【八重山保健所】 うつやアルコール関連の相談会を実施。	29,650
	【那覇市】【浦添市】【名護市】【糸満市】【豊見城市】【宮古島市】【南城市】【今帰仁村】 【金武町】【伊江村】【読谷村】【嘉手納町】【南大東村】【伊平屋村】【八重瀬町】	9,500,857
電話相談	【総合精神保健福祉センター】 うつ病こころの相談窓口として専用電話相談窓口を開設。	412,253
人材養成	【本庁】 ゲートキーパー養成研修講師派遣事業を実施。 【総合精神保健福祉センター】 一般科かかりつけ医・精神科医を対象とした研修会、相談従事者向け研修会を実施。 【中部保健所】 関係機関を対象とした研修会を実施。 【宮古保健所】 アルコール関連問題を抱える家族・支援者向けの研修会、会議等を実施。 【沖縄いのちの電話(補助事業)】 いのちの電話相談員のスキルアップ、心のケアを目的とし、研修会等参加の支援。	4,475,573
	【那覇市】【宜野湾市】【石垣市】【浦添市】【名護市】【沖縄市】【豊見城市】【宮古島市】 【嘉手納町】【北谷町】【西原町】【伊是名村】【八重瀬町】	1,077,976
普及啓発	【本庁】 自殺に関する正しい知識、相談窓口等について、ポスター、カード、新聞広告、パネル展、ラジオCM、Facebook等を活用した広報を実施。 【北部保健所】 アルコール問題に関する専門医療機関、支援機関に関するリーフレットの作成、配布。 【宮古保健所】 自殺予防週間にあわせ、パネル展及びパンフレットの配布を実施。 【八重山保健所】 パネル展及び相談窓口等が記載されたレスキューカードの配布を実施。	2,372,353
	【那覇市】【石垣市】【浦添市】【沖縄市】【豊見城市】【宮古島市】【国頭村】【今帰仁村】 【本部町】【恩納村】【宜野座村】【金武町】【伊江村】【嘉手納町】【北谷町】【伊是名村】	1,923,990
自死遺族 支援機能構築	【総合精神保健福祉センター】 支援者向け研修会を開催、自死遺族「分かち合いの会」周知用チラシ等を作成・配布。	455,170
計画策定 実態調査	【本庁】 自殺対策推進のため、自殺対策連絡協議会及び県機関連絡会議を開催。	1,884,398
	【宮古島市】	413,000
若年者対策	【総合精神保健福祉センター】 教育関係者に対し、思春期の特徴、起こりやすい精神的問題等について研修を実施。	323,450
	【那覇市】【石垣市】【浦添市】【名護市】【沖縄市】【豊見城市】【今帰仁村】【本部町】 【伊江村】【南大東村】	2,403,149
自殺未遂者支援	【北部保健所】 自殺の再企図防止支援体制整備のため、自殺未遂による救急外来受診者の状況調査を実施。自殺未遂を繰り返す者への適切な対応について、研修会を開催。 【中部保健所】 相談窓口が記載されたレスキューカードを管内警察署、保健所の相談者へ配布。 【南部保健所】 未遂者支援の資質向上のため、相談従事者研修を実施。	260,875
	【那覇市】	92,120
自殺未遂者 支援・連携 体制構築	【本庁】 自殺再企図を防ぐため、関係機関の資質向上・連携強化を目的に研修会を開催。 【中部保健所】 救急告示病院、精神科医療機関との連絡会議を開催し、連携フロー図を運用、修正。 【南部保健所】 事例検討会、関係機関連絡会議、警察・消防を対象とした初期対応研修を実施。 【宮古保健所】 連携体制強化のため、既遂者の実態把握調査を実施、会議にて共有。	1,851,957
	【那覇市】【石垣市】【伊平屋村】	146,712
災害時自殺対策	なし	-
ハイリスク地対策	なし	-
地域特性重点特化	【名護市】	2,319,428

6 高次脳機能障害支援普及事業

(1) 事業目的

県が指定する高次脳機能障害者の支援の拠点機関(病院等)において、高次脳機能障害者に対する専門的な相談支援、関係機関との支援ネットワークの充実、高次脳機能障害の正しい理解促進のための普及・啓発事業、高次脳機能障害の支援手法等に関する研修等を行い、高次脳機能障害者に対する支援体制の確立を図る。

(2) 事業実績

①事業委託先

平成19年度9月より事業を開始しており、沖縄リハビリテーションセンター病院、平安病院の2か所に事業委託をしている。

②相談件数

平成29年3月から平成30年3月までの相談件数は1,021件となっている。

③研修実績

【平成29年度】

表19

研修名	実施機関	対象者	実施期日	会場	参加人数
沖縄県高次脳機能障害シンポジウム(自動車運転再開に向けて)	主催:沖縄リハビリテーションセンター病院	一般、医療、福祉、行政	平成29年12月2日	沖縄コンベンションセンター	193人
高次脳機能障害支援普及講習会(高次脳機能障害は認知症?)	主催:平安病院	当事者、家族、一般、医療、福祉関係者等	平成29年10月1日	沖縄県立美術館・博物館	112人
高次脳リハビリテーション講習会(社会行動障害について)	主催:平安病院	当事者、家族、一般、医療、福祉関係者等	平成30年1月21日	宮古島市中央公民館	41人
高次脳リハビリテーション講習会(障害福祉サービスへのつなぎ方と生活支援)	主催:平安病院	当事者、家族、一般、医療、福祉関係者等	平成29年11月11日	大瀆信泉記念館	32人

④勉強会講師等

表20

研修名	実施機関	実施期日
ケース会議	沖縄リハビリテーションセンター病院/平安病院	平成29年4月～平成30年3月
集団認知プログラム『あるがまま』 ※家族の集い	沖縄リハビリテーションセンター病院	平成29年5月～平成30年2月
事例検討会	平安病院	平成29年6月24日
福祉関係職員研修	平安病院	平成29年4月20日、7月30日、10月19日、10月26日
家族の集い	平安病院	平成29年5月～平成30年2月
ジョブサポーター養成研修	平安病院	平成29年6月17日

7 総合精神保健福祉センター活動状況（平成29年度）

精神保健福祉センターは、精神保健福祉に関する知識の普及を図り、精神保健福祉に関する調査研究を行い、並びに精神保健福祉に関する相談及び指導のうち複雑または困難なものを行う施設である。

その他、精神保健福祉手帳の交付の際の判定、自立支援医療の支給認定、精神医療審査会の事務局としての役割を担っている。

(1) 普及啓発、技術指導、教育研修等状況

表21

事業名		延件数	延べ人数
技術指導支援		162	223
教育研修		113	833
普及啓発		4	2,438
電話相談		-	1,951
来所相談		-	198
組織育成	患者会	2	-
	家族会	12	16
	その他	2	-
うつ病デイケア		20	297

(2) 精神医療審査会状況（平成29年度分）

精神医療審査会は、医療保護入院届、措置入院定期病状報告書、医療保護入院定期病状報告書、退院等請求に係る審査を行う。

委員は、精神障害者の医療に関し学識経験を有する者、精神障害者の保健又は福祉に関し学識経験を有する者及び法律に関し学識経験を有する者のうちから、都道府県知事が任命する。

表22

	審査件数	審査結果件数		
		現在の入院形態が適当	他の入院形態への移行が適当	入院継続不要
医療保護入院届出	3,425	3,425	-	-
入院中の定期報告	医療保護入院	1,232	-	-
	措置入院	29	-	-
計	4,686	4,686	-	-

表23

	審査件数	審査結果件数		審査中・取下げ 審査要件消失
		入院処遇は適当	入院又は処遇は不適當	
退院の請求	64	63	1	26
処遇改善の請求	1	1	-	-
計	65	64	1	26

(3) 精神障害者保健福祉手帳交付申請状況

表24

	申請		交付状況				不承認
	医師の診断書	障害年金証の写し	1級	2級	3級	計	
H22	5,194	1,293	1,331	2,720	735	4,786	33
H23	6,128	1,447	1,682	3,440	975	6,097	35
H24	5,894	1,450	1,343	3,873	699	5,915	36
H25	7,463	1,491	2,279	3,864	1,271	7,414	49
H26	7,549	1,497	2,071	3,660	1,199	6,930	37
H27	8,780	1,427	2,567	4,306	1,448	8,321	28
H28	8,612	1,509	2,366	4,163	1,508	8,037	49
H29	9,656	1,420	2,704	4,671	1,681	9,056	33
年度未交付者数			8,117	15,601	4,801	28,519	

8 医療費公費負担制度

(1) 制度概要

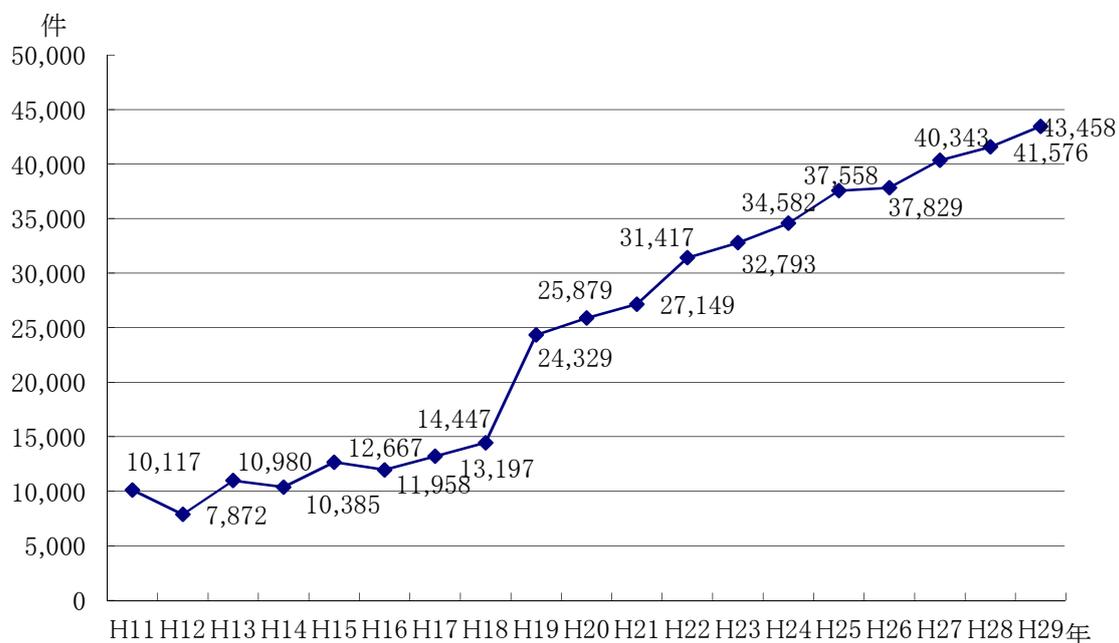
障害者等につき、その心身の障害の状態の軽減を図り自立した日常生活を営むために必要な医療費の一部を公費により負担する制度で、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」が根拠法となっている。

自己負担額は原則10%で、所得等により自己負担上限額が設定されているが、沖縄県においては、「沖縄の復帰に伴う厚生省関係法令の適用の特別措置等に関する政令(昭和47年政令108号)」第3条の規定により、医療保護入院等及び通院に要する医療費の本人負担分についても全額を公費負担(訪問看護における本人負担額については対象外)する特別措置が講じられている。

なお、障害者総合支援法では指定医療機関制度が導入され、病院・診療所のみならず、薬局、訪問看護事業所も指定されており、指定を受けた医療機関でのみ、公費が適用される。

(2) 年次別通院公費負担承認件数

図11



※平成19年度における増加は、平成18年度から受給者証有効期間が2年から1年に短縮されたことによるもの。

9 沖縄県精神科救急医療体制概要

(1) 目的

精神科医療を必要とする者が、いつでも安心して相談や受診ができるよう、休日・夜間等の外来診療時間外において、精神障害者等の適切な医療及び保護を確保し、精神保健福祉の充実に努めることを目的とする。

(2) 内容

表25

項目	内容
対象者	1 自らの意思により、相談・診療を求める者 2 精神症状により、緊急に精神科受診を必要とする者 3 自らの意思によらない医療・保護を必要とする者
非対象者	アルコール酩酊者、身体合併症優先者(身体合併症対応病院除く)等
実施時間	休日 : 9時から翌日9時まで(24時間) 平日夜間 : 17時から翌日9時まで
精神科救急医療相談窓口	電話による相談受付 休日 : 9時から翌日9時まで(24時間) 平日夜間 : 17時から翌日9時まで ※平成30年11月1日時点、午前1時から午前9時の間、一時休止。 連絡先 098-889-8893
当番病院	北圏域、南圏域ごとに1当番病院(精神科救急医療施設) 宮古、八重山圏域については現行県立病院の診療体制で対応
当番病院の診療体制等	精神保健指定医(オンコール可)1名、看護師1名、1床の空床確保等診療応需体制を整備する。
身体合併症対応病院の診療体制等	精神保健指定医(オンコール可)1名、看護師1名、1床の空床確保等診療応需体制を整備する。
かかりつけ病院	かかりつけ病院がある救急患者への対応は、かかりつけ病院で対応することを基本とする。
応急入院指定病院(21カ所)	北圏域:独立行政法人国立病院機構琉球病院 他6病院 南圏域:県立精和病院 他11病院 宮古圏域:県立宮古病院 八重山圏域:県立八重山病院
合併症受入協力病院	当番病院等では対応困難な身体合併症患者を受け入れる病院は、救急告示病院、県立病院、連携している病院等とする。
精神科救急医療体制連絡調整委員会	精神科救急医療体制の適切な運営を図るため医師会、精神科病院協会、警察、消防、精神科医療の学識経験者、行政等の代表者からなる委員会を設置する。
搬送	(原則) 1 診察や入院を依頼した者が搬送を行う。 2 転院患者については、転院依頼した者が搬送を行う。

(3) 年度別受信状況

表26

	回数	総受信 件数	医療機関紹介				その他 の対応
			当番病院	かかりつけ病院	救急告示 病院	その他	
H21年度	853	3,131	408 〔入院 139 外来 230〕	43 〔入院 15 外来 17〕	23	21 〔入院 10 外来 8〕	2,636
H22年度	852	3,075	406 〔入院 170 外来 205〕	24 〔入院 11 外来 10〕	81	27 〔入院 12 外来 12〕	2,537
H23年度	854	3,625	388 〔入院 157 外来 202〕	5 〔入院 3 外来 2〕	71	28 〔入院 16 外来 12〕	3,133
H24年度	850	3,232	397 〔入院 176 外来 186〕	5 〔入院 4 外来 1〕	89	33 〔入院 18 外来 9〕	2,708
H25年度	852	3,083	418 〔入院 163 外来 216 受診無し39〕	1 〔入院 1 外来 0〕	69	37 〔入院 18 外来 16 受診無し3〕	2,558
H26年度	867	2,875	424 〔入院 188 外来 203 受診無し33〕	1 〔入院 0 外来 0 受診無し1〕	74	30 〔入院 15 外来 11 受診無し4〕	2,346
H27年度	856	3,130	431 〔入院 167 外来 218 受診無し46〕	0 〔入院 0 外来 0 受診無し0〕	61	25 〔入院 10 外来 13 受診無し2〕	2,613
H28年度	852	3,029	501 〔入院 215 外来 238 受診無し48〕	1 〔入院 0 外来 1 受診無し0〕	81	20 〔入院 11 外来 8 受診無し1〕	2,426
H29年度	851	3,322	407 〔入院 170 外来 200 受診無し37〕	1 〔入院 0 外来 1 受診無し0〕	75	29 〔入院 19 外来 7 受診無し3〕	2,810

○その他の対応には「指導助言」「相談機関紹介」等を含む。

平成29年度の状況

図12

図13

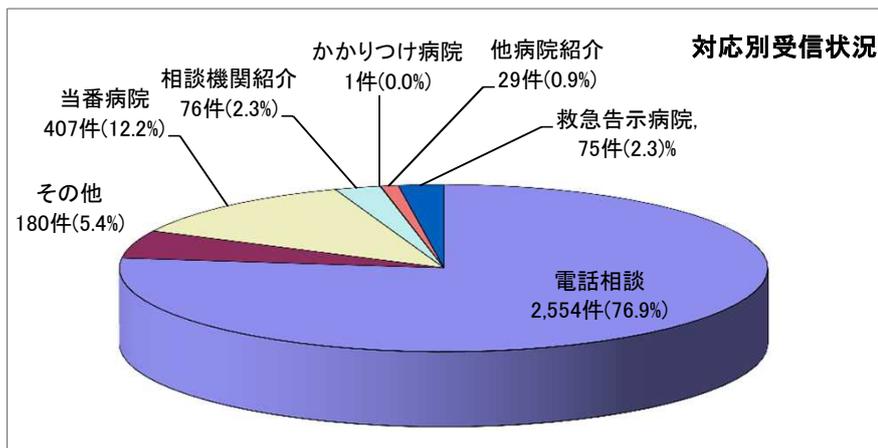
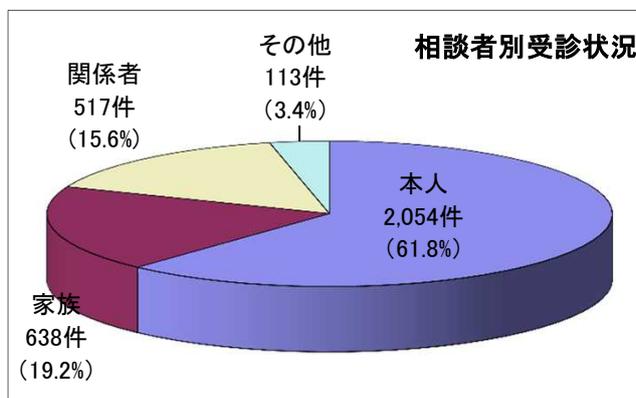
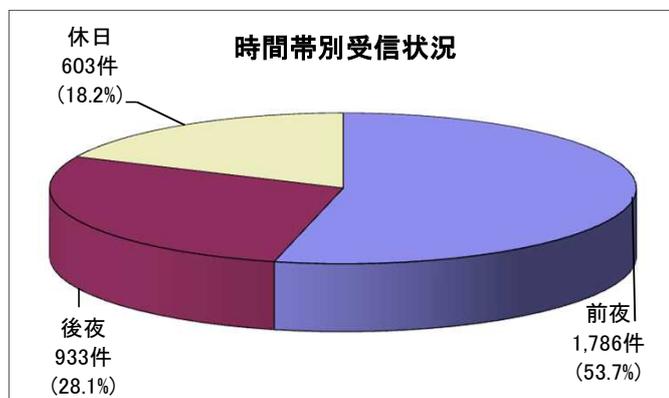


図14

<注>
 前夜(午後5時～午前1時)
 後夜(午前1時～9時)
 休日(土・日・祝日の午前9時～午後5時)
 回数は前夜・後夜・休日を各1回としている。

10 平成29年度沖縄県の精神保健福祉関係予算

(1) 平成29年度精神保健福祉関係予算

(単位:千円)表27

事項	平成29年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	比較増減額	説明
1 精神衛生費	8,884,954	8,445,376	439,578	平成29年度 国庫 4,508,596 一般 4,376,358
(1) 精神医療費	8,633,563	8,198,352	435,211	
精神医療事業費	1,317,854	1,277,661	40,193	
精神障害者特定支援事業	7,452	7,493	△ 41	
精神保健福祉特定相談等事業	148	156	△ 8	・法29条、沖縄の復帰に伴う厚生省関係法令の適用の特別措置に関する政令第3条
精神保健事業費	12,568	9,557	3,011	・措置入院費 国庫負担率75%
自殺予防事業	674	674	0	・復帰特別措置入院費 国庫補助率80%
自殺対策緊急強化事業	0	0	0	・関係団体補助 ・特定相談事業 ・自殺予防事業
自殺対策強化事業	27,768	32,147	△ 4,379	・精神障害者通院医療費 国庫負担率50%
心のケアチーム体制整備事業	3,004	2,568	436	・難治性精神疾患地域連携体制整備事業 国庫補助率50%
精神障害者自立支援医療費	7,251,925	6,855,176	396,749	・ひきこもり対策推進事業 国庫補助率50%
難治性精神疾患地域連携体制整備事業	2,170	2,178	△ 8	・その他
ひきこもり対策推進事業	10,000	10,742	△ 742	
(2) 精神保健福祉センター費	152,074	147,707	4,367	・職員費 ・センター事業費 ・センターデイケア事業費
(3) 精神科救急医療システム整備事業費	99,317	99,317	0	・精神科救急医療システムの整備
2 保健所費	2,421	2,421	0	・保健所における相談事業等
3 民生費	27,471	28,257	△ 786	平成29年度 国庫 4,267 一般 12,834 特定 10,370
地域生活支援事業	8,692	9,035	△ 343	・高次脳機能障害支援普及事業 ・精神障害者地域移行・地域定着支援事業 ・精神障害者社会参加促進事業
通院患者リハビリテーション事業	8,409	8,852	△ 443	
精神障害者地域移行・地域定着促進基金事業	10,370	10,370	0	平成27年度から事業実施

(2) 精神医療費年度推移

(単位:千円)表28

年度	精神医療費 (事項予算額)	医療費(扶助費)				国庫 負担率
		医療費 (扶助費)	精神医療費に 占める割合	国庫負担費	県負担費	
H18	6,327,922	5,203,698	82.2%	2,907,274	2,296,424	55.9%
H19	6,777,281	5,923,762	87.4%	3,258,866	2,664,896	55.0%
H20	7,146,136	6,303,837	88.2%	3,471,030	2,832,807	55.1%
H21	7,439,170	6,628,666	89.1%	3,616,690	3,011,976	54.6%
H22	7,880,254	6,989,501	88.7%	3,784,021	3,205,480	54.1%
H23	8,380,363	7,349,314	87.7%	3,922,786	3,426,528	53.4%
H24	8,831,965	7,650,167	86.6%	4,067,107	3,583,060	53.2%
H25	9,319,354	7,793,894	83.6%	4,111,165	3,682,729	52.7%
H26	8,496,867	8,341,007	98.2%	4,376,554	3,964,453	52.5%
H27	8,448,538	8,314,516	98.4%	4,341,071	3,973,445	52.2%
H28	8,198,352	8,066,300	98.4%	4,200,812	3,865,488	52.1%
H29	8,633,563	8,506,116	98.5%	4,428,603	4,077,513	52.1%

※平成19年度から、精神通院医療費が(事項)精神医療費から(事項)障害者医療費に移管したため、障害者医療費を含めた額を掲載する。

※平成26年度から、(事項)障害者医療費のうち、精神通院医療に係る予算が(事項)精神医療費へ移管した。

(3) 年度別公費負担入院医療費の支払件数及び支払金額

(単位:件、千円)表29

年度 区分		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
支払 件 数	措置入院	542	603	432	349	353	428	447
	特別措置	7,867	7,547	7,033	6,324	5,945	5,477	4,870
	計	8,409	8,150	7,465	6,673	6,298	5,905	5,317
支払 金 額	措置入院	108,326	104,640	84,128	98,374	93,119	119,551	121,356
	特別措置	736,825	719,544	643,953	584,032	536,622	500,953	461,411
	計	845,151	824,184	728,081	682,406	629,741	620,504	582,767

※措置入院費については、レセプト審査を委託している沖縄県社会保険診療報酬支払基金及び沖縄県国民健康保険団体連合会からの請求金額

(4) 年度別公費負担通院医療費の支払件数及び支払金額

(単位:件、千円)表30

年度 区分		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
支払 件 数	精神通院医療	513,556	539,737	561,316	585,426	609,903	629,953	657,585
	特別措置	405,832	424,550	439,239	455,285	475,792	489,898	510,597
	計	919,388	964,287	1,000,555	1,040,711	1,085,695	1,119,851	1,168,182
支払 金 額	精神通院医療	5,921,527	6,219,718	6,428,669	6,504,530	6,756,419	6,853,803	7,225,985
	特別措置	582,635	606,265	637,143	652,949	674,576	681,763	719,008
	計	6,504,162	6,825,983	7,065,812	7,157,479	7,430,995	7,535,566	7,944,993

※精神通院医療費については、レセプト審査を委託している沖縄県社会保険診療報酬支払基金及び沖縄県国民健康保険団体連合会からの請求金額

